

市では、市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市政運営の状況をご理解いただくため、毎年2回、財政事情を公表しています。

今回は、9月の市議会定例会で認定されました平成23年度決算の状況および平成24年4月1日から9月30日までの間における予算の執行状況などについてお知らせします。

那珂市の財政事情

平成23年度決算および財政健全化比率・平成24年度上半期執行状況

問い合わせ

財政課 財政グループ（内線 5 2 2・5 2 3）

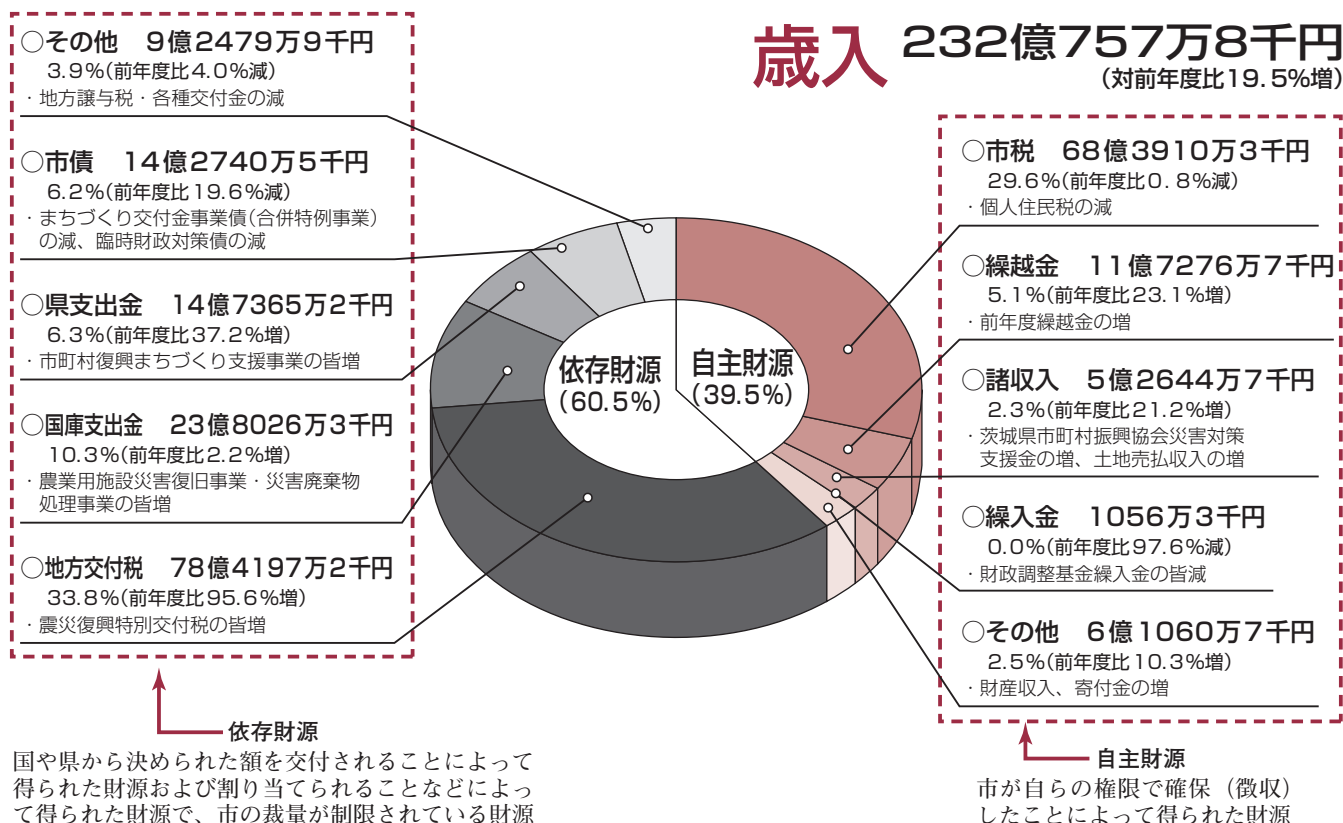
—平成23年度決算—

◆一般会計の決算状況

(単位：千円、%)

区分	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減率 (A)/(B)
予算額	24,128,098	19,608,339	23.1
歳入総額(A)	23,207,578	19,415,564	19.5
歳出総額(B)	20,778,874	18,242,797	13.9
歳入歳出差引額(C)((A)-(B))	2,428,704	1,172,767	107.1
翌年度に繰り越すべき財源(D)	1,310,914	271,201	383.4
継続費通次繰越額	—	—	—
繰越明許費繰越額	1,310,914	189,731	590.9
事故繰越繰越額	—	81,470	皆減
実質収支額(E)((C)-(D))	1,117,790	901,566	24.0

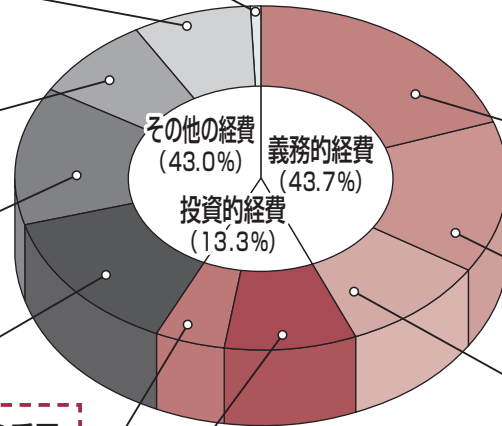
平成23年度の一般会計決算は、東日本大震災に伴う災害復旧関連事業により歳入歳出総額が大幅に増加しています。歳入は、震災の影響により個人市民税および固定資産税等が減少する一方、震災に対する国の財政支援策のひとつである震災復興特別交付税の創設などにより地方交付税が大幅な増額となりました。歳出は、震災に伴う災害復旧事業や市町村復興まちづくり支援事業などの財源を、翌年度以降の復旧事業の財源として積立てたことなどにより大幅な増額となりました。



歳出【性質別】

歳出 207億7887万4千円
(対前年度比13.9%増)

その他の経費
物件費・維持補修費や特別会計
繰出金、積立金・出資金・貸付金等



○その他 1億5517万5千円
0.7%(前年度比45.2%減)
・維持補修費の減

○積立金 16億1179万9千円
7.8%(前年度比203.3%増)
・財政調整基金の増
・震災復興まちづくり基金の皆増

○補助費等 16億3845万1千円
7.9%(前年度比2.8%増)
・市民自治組織支援事業の皆増
・災害救助対策事業の減

○繰出金 26億9674万4千円
13.0%(前年度比19.7%増)
・下水道事業特別会計繰出金等の増

○物件費 28億2795万6千円
13.6%(前年度比13.9%増)
・災害廃棄物対策事業の増
・予防接種事業の増

○普通建設事業費 9億5089万6千円
4.6%(前年度比57.0%減)
・安心安全対策両宮排水路整備事業の減
・杉原地区まちづくり事業等の減

○災害復旧事業費 18億401万7千円
8.7%(前年度比2861.8%増)
・単独災害復旧事業の増

○人件費 40億8929万8千円
19.7%(前年度比0.2%増)
・地方公務員共済組合等負担金の増

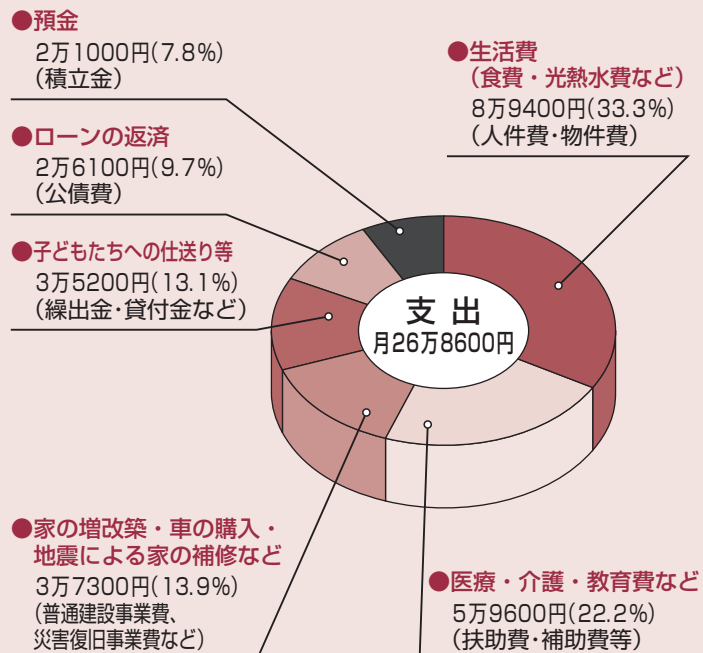
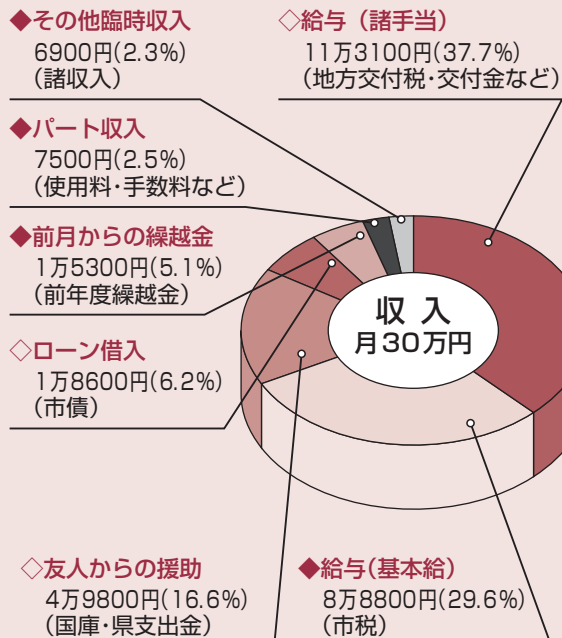
○扶助費 29億7914万円
14.3%(前年度比7.6%増)
・子ども手当支給事業の増
・自立支援サービス給付事業の増

○公債費 20億2539万8千円
9.7%(前年度比2.5%増)
・起債償還金金の増

義務的経費
人件費・扶助費・公債費など、
市が支出にあたり義務を負って
いる性格の強い経費

投資的経費
工事請負費や公有財産購入費など
資本形成に向けられる経費

■那珂市の1年間の歳入を月30万円の収入がある家計に例えると…

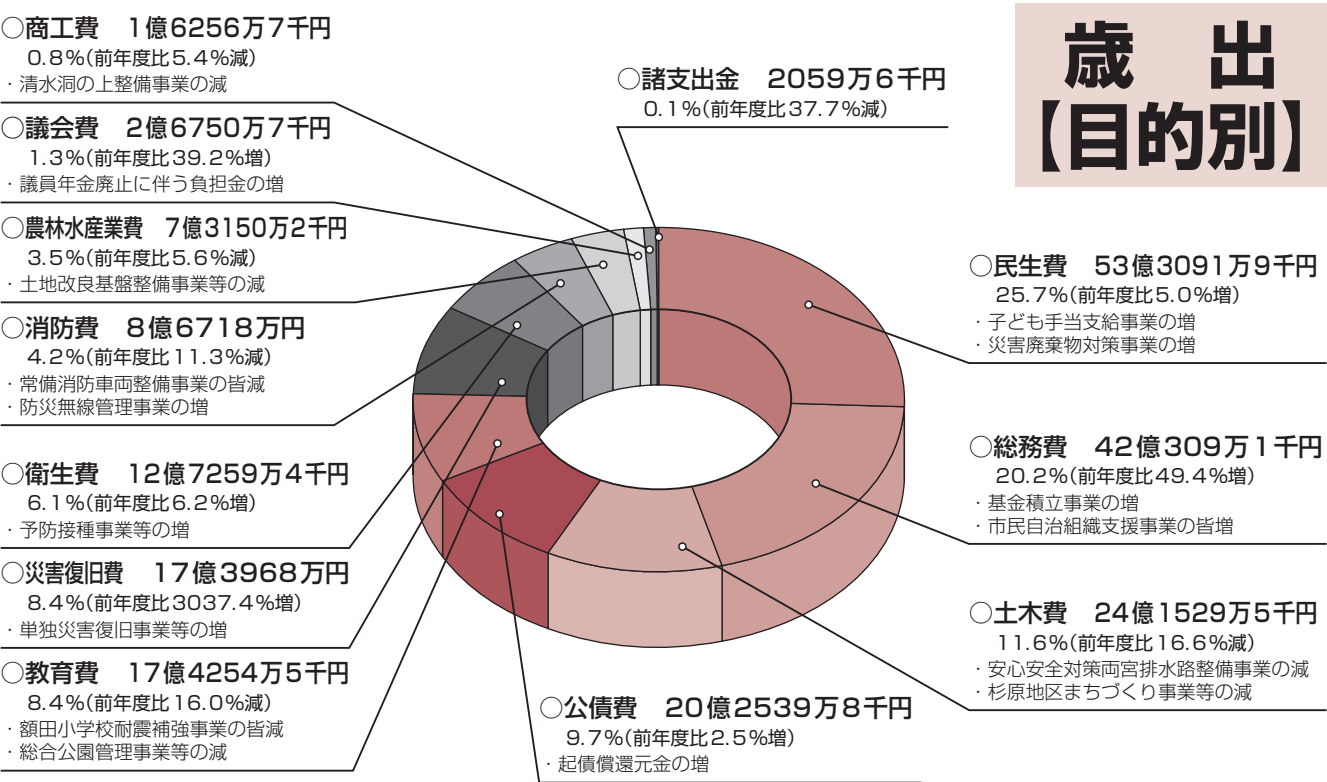


◆：自主財源 ◇：依存財源

※市の年間決算額を1か月の家計に置き換えてみましたが、単純比較は困難ですので、あくまで目安としてください

■収入支出差引(歳出歳入差引) 3万1400円
■家電購入の残金ボーナス払い(平成24年度に繰り越す財源) 1万7000円
■実際の収支(実質収支) 1万4400円

歳出【目的別】



市税負担の状況

税 目	23年度決算額 (千円)	1世帯あたりの 負担額	1人あたりの 負担額
市 民 税	2,738,433	12万9526円	4万9045円
固定資産税	3,247,618	15万3610円	5万8165円
軽自動車税	115,603	5468円	2070円
市たばこ税	400,821	1万8959円	7179円
都市計画税	336,628	1万5922円	6029円
合 計	6,839,103	32万3485円	12万2488円

※世帯数21,142世帯、人口55,835人(平成24年3月31日現在)

市の財政は、市民の皆さんの直接または間接の税負担により成り立っています。23年度の1世帯および1人あたりの負担額は表のとおりです。

また、都市計画税は、公園・道路・下水道などの都市計画事業や土地区画整理事業などに充てられる目的税で、市では次の事業に充当しています。なお、これらの事業の33.8%は都市計画税で賄われています。

【都市計画税充当事業】 安心安全対策両宮排水路整備事業、杉原地区まちづくり事業、下菅谷地区まちづくり事業、上菅谷駅前地区まちづくり事業、竹ノ内街区公園整備事業、上宿大木内線街路整備事業、区画整理事業費および公債費（過去の都市計画事業等で借り入れた市債の返済分）

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入をもって特定の支出に充て、一般会計から分離して別に経理を行う会計です。平成23年度の特別会計の決算額は表のとおりです。

(単位：千円、%)

会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(A)－(B)	22年度歳出決算額(C)	増減率(B)/(C)
国民健康保険(事業勘定)	5,259,616	5,137,325	122,291	4,950,604	3.8
老人保健	—	—	—	12,676	皆減
下水道事業	2,637,415	2,068,102	569,313	1,844,875	12.1
公園墓地事業	15,729	12,393	3,336	13,579	△8.7
農業集落排水整備事業	887,353	777,241	110,112	905,049	△14.1
介護保険(保険事業勘定)	3,486,192	3,469,915	16,277	3,264,202	6.3
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	137,330	128,554	8,776	306,584	△58.1
後期高齢者医療	433,137	432,834	303	425,303	1.8
那珂地方公平委員会	801	58	743	58	0.0
合 計	12,857,573	12,026,422	831,151	11,722,930	2.6

市債の状況

(単位：千円)

区分	23年度末現在高	増減高	22年度末現在高
一般会計債	17,180,017	△312,479	17,492,496
下水道事業債	10,605,842	△226,023	10,831,865
農業集落排水整備事業債	3,608,371	79,558	3,528,813
土地区画整理事業債	845,847	△39,807	885,654
水道事業債	913,338	△89,983	1,003,321
合 計	33,153,415	△588,734	33,742,149

平成23年度末の市債現在高は、両宮排水路整備事業や道路整備事業、公共下水道事業、地方交付税の振替分としての臨時財政対策債などに21億4870万5千円を借り入れた一方で、27億3743万9千円の元金を返済したことにより、331億5341万5千円となりました。市債現在高は市債発行の抑制により減少しています。今後も、市債残高の抑制に努めます。

市有財産の状況

区 分	単位	23年度末現在高	増減高	22年度末現在高
土地	m ²	1,737,127	△924	1,738,051
建物	m ²	166,971	1,469	165,502
有価証券	千円	13,319	0	13,319
出資による権利	千円	74,719	△6,037	80,756
債権	千円	3,261	△8,642	11,903
基金	千円	5,621,616	1,606,648	4,014,968

合併に伴う財政支援措置活用事業

◆平成23年度合併特例債充当事業 (単位：千円)

事業名	充当額	事業費
道路改良舗装事業	53,700	72,616
両宮排水路整備事業	96,400	101,514
まちづくり交付金事業(上菅谷地区)※	82,000	96,507
下菅谷地区まちづくり事業	11,800	24,908
芳野小学校耐震補強事業	104,000	182,942
合 計	347,900	478,487

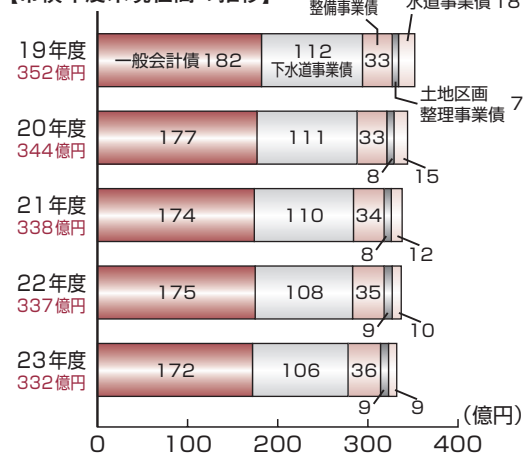
※杉原地区まちづくり事業、竹ノ内街区公園整備事業、上菅谷駅前地区まちづくり事業、安心安全対策両宮排水路整備事業(繰越事業分を含む)

企業会計(水道事業会計)の決算状況

(単位：千円、%)

区 分		23年度決算額(A)	22年度決算額(B)	増減率(A)/(B)
収益的収支	収入	1,149,038	1,143,943	0.4
	支出	1,170,659	1,071,032	9.3
資本的収支	収入	41,018	65,940	△37.8
	支出	376,392	436,800	△13.8

【市債年度末現在高の推移】



上記のグラフは過去5年間の市債年度末現在高の推移です。市では財政健全化プランの推進により、市債発行の縮減や低金利の市債への借り換えなどにより、将来負担の軽減を図っています。

土地は、旧水戸ニコン寮跡地などを購入した一方で、市有地の売却などにより減少しました。

建物(延面積)は、旧水戸ニコン寮の取得などにより増加しました。

債権は、老人保健施設整備資金貸付金などの返済により減少しました。

基金については、財政調整基金、減債基金などを積み増すことで16億664万8千円の増額となりました。

合併特例債は、合併後の一体性の確立や均衡ある発展に資する公共施設の整備事業などに対し、その財源として発行することができる通常の地方債よりも有利な市債です。10年間の発行が認められている合併特例債は、このたびの東日本大震災により、発行期限が10年延長可能となりました。

平成23年度において、合併特例債を活用した事業は表のとおりです。

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており独立採算で運営しています。

収益的収支…事業の管理運営など経常業務に関する収入および支出(消費税込み)

資本的収支…水道管の敷設など建設改良費に関する収入および支出(消費税込み)

※資本的収入の支出に対する不足額は、内部留保資金などで補てんしました

一 財政健全化比率の状況

従来の財政指標は、単年度における主会計（一般会計等）の収支状況に主眼がおかれていましたが、自治体全体の財政状況が健全な状態であるかどうかを判断するための次の4つの指標「健全化判断比率」が定められ、平成19年度決算から全国の自治体で公表しています。また、公営企業においても「経営健全化判断基準」が定められ、同様に公表しています。

那珂市の数値は**良好**であり、**健全性が保たれています！**

これまでの指標では、信号に例えると赤信号と青信号しかなかったため、気付いた時には財政破綻ということもありました。しかし、この指標では、新たに黄色信号をつくり、早めに財政状況を改善することで、破綻を未然に防ぐことを目的としています。

区 分		那珂市		早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
		平成23年度	平成22年度		
健全化判断比率	実質赤字比率	— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	13.04%	20.00%
	連結赤字比率	— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	18.04%	30.00%
	実質公債費比率	11.6%	12.5%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	61.4%	78.7%	350.0%	—
資金不足比率		— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	経営健全化基準 20.0%	

- 実質赤字比率**…一般会計等の実質的赤字が標準財政規模に占める割合（1年間の収入、支出を比べ赤字の割合を示したもの）
- 連結実質赤字比率**…特別会計を含む市の全会計の実質的赤字が標準財政規模に占める割合（企業会計を含めた全会計の赤字の割合を示したもの）
- 実質公債費比率**…一般会計等の公債費（借入金の返済額）に、特別会計の公債費を充てるための繰出金などを加えた実質的な公債費が標準財政規模に占める割合（市債の割合が適正かどうかを判断する数値）
- 将来負担比率**…一般会計等の実質的な将来負担額（一般会計等の借入金残高、特別会計の借入金残高のうち一般会計負担の見込み、市の全職員が退職すると仮定した場合の退職手当負担見込み、土地開発公社などの関係団体への一般会計負担見込みなど）が標準財政規模に占める割合
- 資金不足比率**…市の公営企業において生じている赤字（資金不足）が事業規模に占める割合（公営企業における経営状態の悪化の度合いを示すもの）。市では水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水整備事業特別会計の3会計が対象となります。

※標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な一般財源を示すもので、当市では121億122万8千円（平成23年度）となっています

※一般会計等とは、一般会計、公園墓地事業特別会計、上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計、那珂地方公平委員会特別会計を指します

財政健全化比率以外の主な財政指標の状況

指標	指標が表しているもの	数値 (対前年比)	県内順位
財政力指数	財政基盤の強さを表す指標で、標準的な行政需要を賄うのに必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを表す指標です。数値が大きいほど、財源に余裕があるとされており、数値が1を超えると普通交付税の交付を受けないことになります。	0.66 (△0.02)	24位／ 44市町村
経常収支比率	財政構造の弾力性(ゆとり)を判断する指標で、経常的な経費（人件費、扶助費、公債費、物件費等）が経常的な収入（市税・普通交付税等の毎年収入される性質の収入）に占める割合で、比率が低いほど、臨時的財政需要に対して余裕があります。	89.2% (1.3)	27位／ 44市町村

ー平成24年度上半期執行状況ー (平成24年4月1日～9月30日)

平成24年度の予算執行にあたっては、限られた財源を最大限に生かすよう努めるとともに、歳入予算の早期確保と歳出予算の計画的かつ効率的な執行に努めています。

平成24年9月30日現在の一般会計、特別会計、水道会計、市有財産の状況および市債の状況について、お知らせします。

●市有財産現在高

区 分	単位	平成24年 3月31日現在高	増減高	平成24年 9月30日現在高
土地	m ²	1,737,127	△1,324	1,735,803
建物	m ²	166,971	△117	166,854
有価証券	千円	13,319	0	13,319
出資による権利	千円	74,719	0	74,719
債権	千円	8,391	22,554	30,945
基金	千円	5,564,985	56,631	5,621,616

●市債現在高

(単位：千円)

区分	平成24年 3月31日現在高	増減高	平成24年 9月30日現在高
一般会計債	16,843,718	△399,355	16,444,363
下水道事業債	10,530,542	△186,530	10,344,012
農業集落排水 整備事業債	3,588,971	△48,662	3,540,309
土地地区画整理 事業債	845,846	△28,526	817,320
水道事業債	913,338	△20,719	892,619
合 計	32,722,415	△683,792	32,038,623

<水道事業会計>

(単位：千円、%)

区 分		予算現額 (A)	収入・支出済額 (B)	執行率 (B)/(A)
収益的収支	収入	1,116,315	552,712	49.5
	支出	1,107,371	269,864	24.4
資本的収支	収入	81,846	0	0.0
	支出	558,968	128,741	23.0

※資本的収入の支出に対する不足額は、内部留保資金などで補てんします

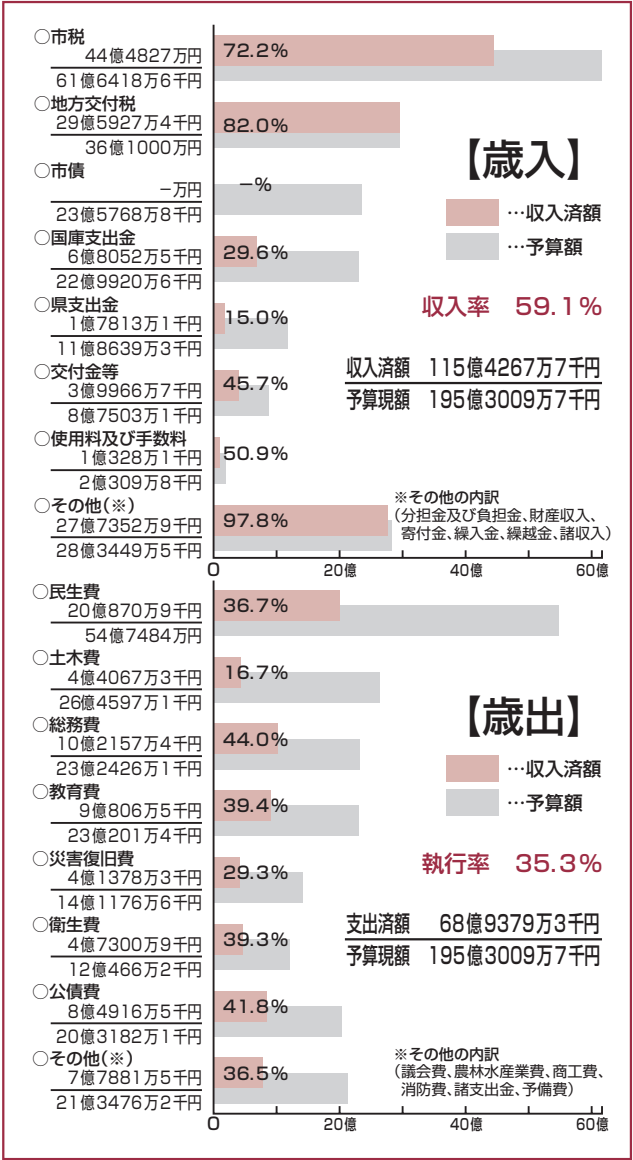
<特別会計>

特別会計の歳入歳出予算の執行状況は予算現額に対する収入済額の割合が33.3%、支出済額の割合が37.1%で、例年並みの状況となっています。

会計名	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	支出済額 (C)	執行率 (C)/(A)
国民健康保険(事業勘定)	5,189,000	1,997,315	38.5	2,292,738	44.2
下水道事業	3,253,935	785,113	24.1	799,255	24.6
公園墓地事業	11,000	13,010	118.3	1,299	11.8
農業集落排水整備事業	1,008,624	204,213	20.2	295,978	29.3
介護保険(保険事業勘定)	3,744,545	1,453,510	38.8	1,570,359	41.9
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	195,000	8,778	4.5	39,908	20.5
後期高齢者医療	453,000	157,715	34.8	144,738	32.0
那珂地方公平委員会	850	848	99.8	848	99.8
合 計	13,855,954	4,620,502	33.3	5,145,123	37.1

<一般会計>

平成24年9月30日現在における一般会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額に対する収入済額の割合が59.1%、支出済額の割合が35.3%で、ともに順調に執行されています。



(単位：千円、%)